

授業科目 家族関係論

【担当教員名】 山手茂	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要  
 社会の中の最小集団である家族について歴史の変遷、構造と機能、発達課題と家族関係、家族の危機と適応過程などについて、家族を取り囲む環境との関係を重視しつつ概説する。

学習目標  
 1. 家族と保健・医療・福祉との関係を理解する  
 2. 人間にとって家族がいかに大切であるか理解する  
 3. 社会と家族との関係を理解する  
 4. 家族の生活設計と保健福祉との関係を理解する  
 5. 患者・障害者の在宅ケアとケアマネジメントの課題を理解する

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1		家族とはなにか。家族はどのように研究されているか	講義
2		家族のライフサイクルと各段階の生活課題	
3		子どもと家族—その理想と現実	
4		結婚と家族形成—その理想と現実	
5		夫婦関係と親子関係—その理想と現実	
6		老後の親と子の関係—その理想と現実	
7		社会の変化と家族の変化—前近代・近代・現代	
8		農業・商工自営業家族—その生活問題と課題	
9		労働者・サラリーマン家族—その生活問題と課題	
10		共働き家族—その生活問題と課題	
11		家族の生活設計と保健福祉の課題	
12		在宅ケアと家族福祉	
13		家族問題と社会保障	
14		まとめ	
15		まとめ	

【評価方法】  
 ①レポート、②出席、③期末試験を総合評価する

【履修上の留意点】  
 家族は最も身近な共同生活の場であるから、家族生活の体験をふまえて、学問的に研究することを目的として受講してほしい。

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
	参考書を随時紹介する。毎時間教材を配布する。			